

幸手市文化遺産だより



VOL. 6

●自然災害から生活を守る知恵としての文化遺産 1

大水の記憶と水塚

民具資料館の入り口には、木製の大きな舟が展示してあります。昭和22年(1947)9月半ばに猛威をふるったカスリーン台風による大水のとき使われたという舟で、社会科見学で訪れる小学生たちに、幸手と水害とのかかわりを説明するための貴重な資料となっています。もともと水害に備え農家の物置に常備していた舟ですが、防災意識の変化からか最近では所有する家も少なくなったようです。昭和22年の大水害からすでに60年以上を経過した今、舟の消滅と同じくして大水害の記憶も薄れかけています。

市内を歩けば、かつて人々を苦しめた水害の爪痕を見ることができます。たとえば高須賀池は、近年公園として整備され憩いの場となっていますが、古くは江戸時代の天明6年(1786)および昭和22年の大水でできた池です(そうした池を「押堀」といいます)。また、観桜客でにぎわう権現堂桜堤に佇む「順礼の碑」(市指定文化財)は、享和2年(1802)の大水で決壊した権現堂堤の工事で人柱となったという母娘の悲話を今に伝えます。あわせて、昭和59年(1984)に幸手町教育委員会が発行した『幸手町のかたりべ 第二集 昭和22年大水害編』に収録された体験談は、水没した市域の様子や生活の苦勞など、水害のなまなましい記憶が被災した住民の視線でつづられた貴重な文献資料となっています。

ところで「水塚」という施設をご存じでしょうか?そこで市域の生活文化史に詳しい『幸手市史 民俗編』を見てみましょう。そこには、次のように記述されています。

「水塚とは、大水などによって屋敷に水が上がったときの避難場所として、屋敷の一隅を高く土盛りした施設であり、その上には穀蔵が建てられていることが多い。」

なるほど、これも大水という自然災害から生活を守るための施設であったことがわかります。そこで、今回は、この水塚調査の概要報告をいたします。



高須賀池



民具資料館の水害予備船



順礼の碑

水塚調査の概要報告



調査風景
(中野・鈴木家)

現在、教育委員会では市内の水塚を調べています。調査のきっかけは、埼玉地区文化財担当者会※1の民俗部会における年間課題研修テーマに水塚が選ばれたことに始まります。この調査では、自治体の枠をこえて広域的に水塚を調べ、そこから埼玉地域の特徴を見出すことを目的としています。利根川・古利根川・中川・江戸川・元荒川と幾筋もの河川が流れる埼玉地域は、それらの河川による水害とのたたかいを歴史的に強いられてきました。それゆえ、不時の自然災害から生命・財産を守るためのさまざまな知恵が生活の中に活かされてきました。その一つが水塚という屋敷内の施設なのです。

幸手市では、すでに市史編さん事業での調査実績があり、その成果は『幸手市史 民俗編』※2に掲載されています。しかし、埼玉地区の広域調査のために新たなデータ収集が必要となったこと、あわせて先の調査報告からすでに10年以上の年月が流れ、水塚をとりまく状況も変化したことなどを考慮し、現状把握と計測調査をおこなっています。

調査は、『民俗編』の調査記録をもとに、塚の規模の計測をはじめ、呼称・建築年代・水害予備船の有無、あわせて水害のときの様子などの聞き取り調査を実施しました。まだ、途中経過ですが、水塚を確認できた家数は120軒(うち水塚が現存する家数は89軒)に及びます。『民俗編』の報告では、水塚を確認できた家数が102軒ですから、18軒の水塚の所在が新たに確認できたことになります。その分布状況を右の図に示しました※3。

このようにして集められたデータは、地域に根付いた生活文化を後世に伝えるための貴重な文化的資産といえます。調査結果は今後報告していきたいと思いますが、調査にこころよくご協力いただきました水塚所有者のみなさまに、あらためてお礼を申し上げます。

近年、河川堤防強化事業など水害対策もすすむ一方で、ゲリラ豪雨など環境変化がもたらすといわれる大規模な自然災害も発生しています。自然の猛威から、いかに自らの生活を守るか、今回ご紹介した水塚をとおして、先人が生み出した防災の知恵を見直し、あらためて今後の防災を考えるきっかけとなれば幸いです。

※1埼玉県の東部に位置する埼玉地区15市町教育委員会の文化財担当者で構成する組織。歴史・民俗・考古の各部会を内部に組織し、調査研究活動に取り組んでいる。これまで民具、道しるべ、縄文時代前期、まつり・行事、酒、遺跡などの調査研究をおこない、その成果は報告書にまとめられている。あわせて巡回展示を実施し成果を広く一般に提供している。現在「埼玉の遺跡」展を実施中で、幸手市では平成20年11月の第48回幸手市文化祭にあわせて開催した。

※2平成9年3月発行、第1編村の民俗 第1章住まいと暮らし 第1節村の景観と農家の造り 3水害と水塚40～66頁を参照。

※3『幸手市史 民俗編』調査後、転出した家が5軒あったが図中には示していない。

今回の水塚調査は、市内石造物調査で活動中の市民ボランティアを核として、新たに水塚調査ボランティア調査員を教育委員会が認定し実施しました。「うちにも水塚があるけど、まだ調査に来ていないなあ?」と思われる方は、ぜひご連絡のうえご協力ください。

連絡：教育委員会 生涯学習課 文化歴史担当 電話 43-3248

《幸手市水塚分布図》



刊行物のご案内

幸手市域の石造物の調査結果をまとめた『幸手市文化遺産調査報告書 幸手の石造物Ⅰ～Ⅳ』が平成20年3月までに4冊発行されています。

路傍に佇む小さな石仏から見上げるような記念碑まで、写真と解説した碑文をあわせて掲載していますので、見



やすくて親しみやすい構成です。

ウォーキングやお散歩の途中で気になった石仏をこの報告書で調べてみてはいかがでしょうか?

既刊各集の収録地区は、右のようになっています。頒布価格は各1,500円、生涯学習課(市役所第二庁舎2階)、市立図書館の各窓口で頒布しています。



『第1集 幸手の石造物Ⅰ』幸手地区

江戸文化のかおりが残る旧幸手宿の石造物が満載

『第2集 幸手の石造物Ⅱ』吉田地区①

広大な惣新田地区の石造物の集大成

『第3集 幸手の石造物Ⅲ』吉田地区②

下吉羽・上宇和田・下宇和田・中島・花島・横野地・西関宿・細野の8地区の市域東部の石造物集

『第4集 幸手の石造物Ⅳ』幸手地区②・行幸地区・長倉地区

旧内国府間・千塚・円藤内・松石・高須賀・外国府間・中川崎・下川崎の8地区の市域西部の石造物集

※現在『第5集 幸手の石造物Ⅴ』権現堂川地区・八代地区①の刊行作業をすすめています。頒布開始予定は4月以降です。

文化遺産保存公開日誌抄

平成19年4月1日～平成20年3月31日

平成19年

- 4. 16 石造物データ整理 (資料室)
- 23 石造物調査 (北1丁目)
- 24 石造物調査 (北1丁目他)
- 5. 7 石造物調査 (北1丁目)
- 11 民具資料館見学 (八代小)
- 14 石造物データ整理 (資料室)
- 18 埼玉地区文化財担当者会総会 (越谷市)
- 22 石造物調査 (北1丁目)
- 28 石造物データ整理 (資料室)
- 29 石造物データ整理 (資料室)
- 行政文書収集 (市役所)
- 30 行政文書収集 (市役所)
- 6. 1 埼玉協総会 (さいたま市)
- 4 石造物データ整理 (資料室)
- 5 石造物データ整理 (資料室)
- 7 行政文書収集 (市役所)
- 8 行政文書収集 (市役所)
- 11 石造物調査 (木立)
- 12 石造物調査 (木立)
- 20 県立博物館「橘守部の書」撮影 (資料室)
- 25 石造物調査 (権現堂・神明内)
- 26 石造物調査 (上吉羽)
- 7. 2 石造物データ整理 (資料室)
- 4 民具資料館見学 (さくら小)
- 9 石造物調査 (北3丁目)
- 高須賀門榎煉瓦調査 (高須賀)
- 10 民具資料館見学 (上高野小)
- 17 石造物調査 (北3丁目)
- 23 石造物調査 (権現堂)
- 24 文化財保護審議会 (市役所)
- 高須賀門榎レリーフ調査 (高須賀)
- 8. 7 幸手市教育研究会文化財めぐり (市内)
- 18 第5回市史講座<近・現代>①(図書館)
- 25 第5回市史講座<近・現代>②(図書館)
- 31 資料閲覧者対応 (資料室)
- 9. 1 第5回市史講座<近・現代>③(図書館)
- 4 石造物調査 (神明内)
- 10 石造物調査 (中野・権現堂)
- 11 石造物調査 (上吉羽)
- 14 埼玉地区文化財担当者会 (春日部市)
- 18 石造物調査 (上吉羽)
- 25 石造物調査 (神明内)
- 27 民具資料館見学 (幸手小)
- 28 民具資料館見学 (幸手小)
- 10. 2 石造物データ整理 (資料室)
- 4 県立博物館「橘守部の書」貸出し (資料室)
- 9 石造物データ整理 (資料室)
- 10 民具資料館見学 (権現堂川小)
- 15 石造物調査 (上吉羽)
- 民具資料館見学 (吉田小)
- 17 民具資料館講堂収蔵民具資料移転
- 22 石造物調査 (北3丁目)
- 23 石造物データ整理 (資料室)
- 24 生涯学習・社会教育・文化財行政主管課長会議 (さいたま市)
- 26 年金者組合埼玉県本部幸手支部学習会出張講座 (勤労福祉会館)
- 29 石造物データ整理 (資料室)
- 11. 3~4 埼玉地区文化財担当者会巡回展「埼玉の酒」開催(アスカル幸手)

- 11. 6 石造物報告書編集作業 (資料室)
- 12 石造物報告書編集作業 (資料室)
- 13 石造物報告書編集作業 (資料室)
- 18 第1回小学生囲碁大会 (北葛北部医師会館)
- 20 石造物報告書編集作業 (資料室)
- 街道テクテク旅記録本データ提供用写真撮影 (市内)
- 22 埼玉地区文化財担当者会 (吉川市)
- 26 石造物調査 (長間・中野・平野)
- 27 石造物報告書編集作業 (資料室)
- 28 資料閲覧者対応 (資料室)
- 29 石造物調査報告書用写真撮影 (市内)
- 30 県立博物館「橘守部の書」返却 (資料室)
- 12. 3 石造物報告書編集作業 (資料室)
- 4 石造物報告書編集作業 (資料室)
- 7 民具資料館見学 (さかえ小)
- 19 権現堂堤の歴史について講話 (幸手小)

平成20年

- 1. 21 石造物報告書編集作業 (資料室)
- 22 石造物報告書編集作業 (資料室)
- 23 栗橋町史へ写真貸出し (資料室)
- 28 石造物報告書編集作業 (資料室)
- 就業体験実習生受入 (資料室)
- 29 石造物報告書編集作業 (資料室)
- 30 朝日新聞取材対応 (資料室)
- 2. 4 石造物ボランティア打合せ (資料室)
- 5 市内水塚調査 (中野・神扇)
- 9 伝統文化芸術伝承事業 伯元・察元・烈元記念囲碁の会 (中央公民館)
- 12 市内水塚調査打合せ (資料室)
- 14 石造物報告書編集作業 (資料室)
- 18 市内水塚調査 (下川崎)
- 19 市内水塚調査 (下川崎・千塚)
- 21 鷲宮町立郷土資料館へ資料貸出し (民具資料館)
- 22 埼玉地区文化財担当者会 (久喜市)
- 23 伝統文化芸術伝承事業 伯元・察元・烈元記念囲碁の会 (西公民館)
- 25 市内水塚調査 (中5丁目・外国府間他)
- 26 市内水塚調査 (惣新田・吉野・神扇)
- 28 マイクロフィルム検査業務完了
- 3. 1 文化遺産だより第5号発行 (全戸配布)
- 4 市内水塚調査 (惣新田・細野・長間)
- 6 資料閲覧者対応 (資料室)
- 11 市内水塚調査 (惣新田・長間)
- 13 資料閲覧者対応 (資料室)
- 17 市内水塚調査 (平須賀)
- 18 市内水塚調査 (惣新田)
- 24 市内水塚調査整理作業 (資料室)
- 「幸手市文化遺産調査報告書第4集 幸手の石造物Ⅳ」発行
- 25 市内水塚調査 (戸島・平須賀)
- 文化財案内板修繕完了 (北2丁目・権現堂)

幸手市文化遺産だより 第6号

平成21年3月2日発行

編集：幸手市教育委員会 生涯学習課

〒340-0192 幸手市東4-6-8

Tel 0480-43-3248 (直通)

Fax 0480-43-5118

発行：幸手市教育委員会